

IEC/TC110 デルフト会議の報告

IEC/TC110 デルフト会議の報告
—TC昇格後3回目の会議—

デルフト会議の概要

2005年9月24日（土）から26日（月）まで、オランダのデルフトにてTC110（フラットパネルディスプレイデバイス）の会議が開催されました。

2003年にSC47CからTC110へ格上げになってから、一昨年10月のソウル会議に次いで3回目の会議となりました。

今回の各国からの参加者数は、表1のとおりです。今回のTC110の会議は、同年9月に欧州で開催されたEuro-Displayと併せて開催されました。

通常、TCと各WG（PT）の会議は同じ場所で開催されますが、今回のTC110とWG2（液晶ディスプレイ）、WG4（プラズマディスプレイ）は、オランダのデルフトで9月24日から26日まで会議を開催し、PT62341（有機EL）は、英国のCambridge Display Technology社のスポンサーのもと、イギリス（スコットランド）のエジンバラにて9月22日（木）から24日（土）まで会議が行われました。

各WG（PT）会議の概要

(1) WG2（液晶ディスプレイ）

WG2では、反射型LCD測定方法の継続審議が行われ、2006年11月を目標に1CDとすることが合意されました。Visual Inspectionについては、ソウル会議後に作成された1CDドラフトについて議論され、2005年12月に1CDが正式に回示されることになりました。動画測定方法については、NPが通過して1CD作成のための議論が開始され、2006年10月を目標に1CDを回示することで合意されました。

	日本	韓国	中国	その他
TC110	10	7	5	4
液晶ディスプレイ	3	4	2	3
プラズマディスプレイ	6	3	3	4
有機ELディスプレイ	4	5	4	5

表1. TC110デルフト(オランダ)会議の国別参加者数

その後、2005年10月21日に東京でWG2のAd-hoc会議が開催されました。次の会議は、2006年3月13日から17日の週に、韓国で開催される予定です。

(2) WG4（プラズマディスプレイ）

WG4では、発行済みIECの規格（Measuring Methods - Optical, Optoelectrical）のメンテナンス時（2007年）に2規格を統合し、追補を行うことになりました。これに関して、打土井委員（パイオニア）をリーダーとして各項目の審議が行われました。

Measuring Methods - Qualityについては、各国からの1CDへのコメント内容が審議されました。特に、日本での審議リーダーであった打土井委員を中心に、セル欠陥についての文章が見直されました。米国から、明所コントラスト測定方法について問題提起があり、次回、詳細に審議されることになりました。

Generic Specificationについては、安藤委員（松下電器産業）が松田委員（同）に代わってプロジェクトリーダーとして1CDの審議を進め、2006年2月に1CDを回示することになりました。

その後、WG4の会議は、「IDW'05」が12月6日から9日まで香川県高松市で開催される時期に併せて、2005年12月4日と5日に高松市で開催されました。

次のWG4の会議は、2月24日と25日に東京のJEITA会議室にて開催される予定です。

(3) PT62341（有機ELディスプレイ）

有機ELのPT62341では、日本の柴田委員（三洋電機）



写真1. WG4の会議出席者

IEC/TC110 : Flat panel display devices (フラットパネルディスプレイデバイス)

がプロジェクトリーダーを務める用語について、田辺委員（パイオニア）が代理のプロジェクトリーダーとして審議が進められ、2CDに対して寄せられた270のコメントについて審議が行われ、2006年6月にCDVを発行することが合意されました。

中国がプロジェクトリーダーを務めている測定方法については、1CDの審議が行われ、一部の測定項目について、次回会議で更に審議されることになりました。韓国がプロジェクトリーダーのGeneric Specificationについては、1CDの審議が行われ、2005年10月末までに2CDが準備されることになりました。

環境試験方法については、7月にNPとして提出されたため、本会議の時点ではまだ投票期間中でしたが、準備された文書を基に審議が行われました。なお、このNPは10月の投票結果で承認されました。リーダーは韓国が務めることになりました。前回のボストン会議で、アメリカから標準化の提案があったVisual Qualityについて、アメリカ、フィンランド及び韓国から予備調査の報告がなされ、それを基に議論が行われ、NPとして提案することになりました。リーダーはアメリカが務める予定です。

ドイツの委員から、FPD全体で共通の課題（特に測定方法）を検討するために、TC110内でWG、PT横断的な新しいWGを設置する必要があるとの提案があり、TC110のPlenary Meeting（9月26日）に提案されることになりました。なお、この提案はTC110のPlenary

Meetingで承認されました。

次回のPT62341の会議は、2月15日から17日まで、東京のJEITAの会議室で開催される予定です。

TC110会議の概要

(1) 新たなWGの設置（PT62341のWGへの移行）

米国から、PT62341の有機ELディスプレイ（OLED：Organic Light Emitting Diode）を標準化活動の推進のために、WGとして組織すべきとの提案がなされました。このWG設置の提案に関して議論が行われ、IECのTechnical Officerに意見を求めたところ、今回のTC110の議事においてこの提案への反対が特になければ、新たなWGを設置することは可能であるとのことであり、PT62341はTC110内にWG5として新たに設置されることになりました。なお、Convenorは韓国から選出の予定です。

(2) 各WGの同期的活動のためのコーディネーショングループ設立の提案

ドイツから、液晶ディスプレイ、プラズマディスプレイ及び有機ELディスプレイの製品毎に、用語から各種測定方法に至るまで別々に標準化を行っているが、各WGに共通する項目の標準化を纏めるコーディネーショングループを設立すべきとの提案がなされました。この提案については、提案国であるドイツにリーダーを委嘱し、更なる詳細な計画案を提出してもらい、次回の会議で議論を深めることになりました。

(3) TC100とTC110のTVの消費電力測定方法に関するJoint Working Groupの設置

米国における、プラズマディスプレイTVを中心とするフラットパネルディスプレイ型のTVの消費電力の問題への対応として、TC100（オーディオ、ビデオ、マルチメディアシステム及び機器）とTC110とのJoint Working Group（JWG）を設置しようとの提案が日本から提出され、投票の結果、このJWGの設置が承認されました。

(4) 次回のTC110会議の予定

2006年のTC110の会議は、12月に「IDW'06」が滋賀県大津市の大津プリンスホテルで開催されることに併せて、同じ大津市で開催される予定となりました。



写真 2. PT62341の会議出席者